

お知らせ

2025 年 1 月 21 日

## 日立ならではの生成 AI 開発・活用のエキスパートを「GenAI アンバサダー」に任命、 お客さまとの懸け橋となり、イノベーション創出・生成 AI の社会実装を促進



GenAI アンバサダーに就任したメンバー

株式会社日立製作所(以下、日立)は、このたび、生成 AI による業務変革をリードし、複雑な課題解決やイノベーション創出に取り組むロールモデルとして「GenAI アンバサダー」というポジションを新たに設け、IT/OT(制御・運用技術)の両分野で活躍する日立ならではの生成 AI 開発・活用のエキスパート 16 名を任命しました。

GenAI アンバサダーは、日立が 1,000 件以上の生成 AI 活用のユースケースを積み重ねる中で確立した先進の技術や深いドメインナレッジを強みに、社内外の AI トランスフォーメーションを推進するとともに、自らの経験をもとに生成 AI の価値や可能性をタイムリーに伝えるメッセンジャーとしての役割を担います。

今回、初期メンバーとして、日立全社の AI トランスフォーメーションを牽引するデジタルシステム&サービスセクターより、経営から営業・マーケティング、データ分析、システム開発・保守、インフラ・機器の制御・運用までの各業務に精通し、定型業務だけでなく、専門的でより高度な非定型業務にも生成 AI の本格適用を図る IT エンジニア、生成 AI エンジニア、LLM エンジニアなど多様なメンバーを選出しました。

今後、GenAI アンバサダーは、システム開発の高度化や OT 領域での適用、形式知・暗黙知を学習させた AI エージェント開発、生成 AI 環境の強化、戦略・提案作成の自動化など、生成 AI 活用の最前線をお客さまやパートナーと共有することで議論を活性化し、それぞれの課題にあったベストプラクティスへの迅速な落とし込みを支援します。

このように、日立は、確立した生成 AI 活用のユースケースだけでなく、進行形のトライ＆エラーも含めてより柔軟に発信していくことで、日立の生成 AI 事業の認知・共感を広げ、長期的な信頼関係の構築につなげるとともに、イノベーションの創出や生成 AI の社会実装を促進していきます。

GenAI アンバサダー紹介サイト：

[https://digital-highlights.hitachi.co.jp/gen\\_ai-ambassador](https://digital-highlights.hitachi.co.jp/gen_ai-ambassador)

## ■背景

日立は、長年、お客さまや社会の課題と向き合い、データとテクノロジーをもとにお客さまと協創しながら価値を生み出す社会イノベーションを推進し、サステナブルな社会の実現に取り組んできました。昨今、イノベーション創出の起爆剤となる強力なツールとして生成 AI が登場し、急速な技術進展と活用領域の拡大が進んでいます。

日立は、急速に進化する生成 AI を日立全社の成長エンジンとして積極的に活用し、業務の生産性を飛躍的に向上させるとともに新たな事業機会を創出する AI トランスフォーメーションを推進しています。そして、その技術・ノウハウを Lumada に取り込み、Generative AI センター<sup>\*1</sup> が中心となってお客さまの業務変革に適用・伴走し、特に深刻な社会課題であるフロントラインワーカーの働き方改革を支援しています。また、多くのグローバルパートナーとの積極的な協業強化<sup>\*2</sup>により、生成 AI の先進技術やノウハウを融合し、革新的なソリューション創出に注力するとともに、高度な生成 AI スキルを持つ人財育成にも積極的に取り組んでいます。

このように、社会課題を起点に生成 AI 事業を継続的に強化してきた結果、「システム開発」では、ミッションクリティカル領域での SI における要件定義からシステムテストまでの各工程で一定の効果があることが見えてきました。例えば、「Hitachi GenAI System Development Framework」を適用することにより、90%以上の精度でプログラム生成ができ、コーディング工程においては30%の工数削減ができる見込みです<sup>\*3</sup>。また、マイグレーションにおけるブラックボックス解消を実現する「ソースコードからの設計書再生」についても人手で設計書を再生する場合と比較し、大幅な期間短縮を実現可能です。今後は、全ての工程への適用・精度向上を推進し、「システム開発」全体で生産性向上 30%をめざして挑戦を進めていきます。

さらに、「カスタマーサービスの高度化」では、IT 運用において、統合システム運用管理「JP1」の SaaS 版である「JP1 Cloud Service」と生成 AI を連携したサービスを提供開始し、幅広い業種の IT 部門のオペレーターによる障害対応の初動の迅速化や運用効率化を見込んでいます。先行実施した社内実証では、生成 AI によりアラート対処方法を回答し、その根拠となるマニュアルなどの引用元も表示したことで、運用オペレーターの初動の判断時間を約 2/3 に短縮できる効果を確認しました。

日立は、こうした成果や挑戦をまた次の社会やお客さまの課題解決に還元するフィードバックループを実践していくことで、社会イノベーションを加速させていきます。このサイクルを速くまわし、より多くのステークホルダーと、より多くの成果を生み出すためには、日立とお客さま・パートナーを情報でつなぎ、相互研鑽やオープンで闊達な議論をもとに信頼関係を構築するアンバサダーの役割が重要になると考え、GenAI アンバサダーの任命に至りました。

## ■日立製作所 デジタルシステム&サービス統括本部 CTO 鮫嶋 茂稔のコメント

日立は創業より、優れた技術で社会に貢献することを企業理念としています。AI の第 1 次ブームにあたる 1973 年には視覚を持った自動機械の先駆けとして、計算システムによるトランジスタの自動組み立て装置を世界で初めて構築し、稼働させました。そこから 50 年以上にわたり技術を磨き、現在は複数のロボットと AI が連携して物品の移動や仕分けをスムーズに行う研究開発など、「社会に浸透する AI」とは何かを考えながら世界トップクラスの成果を出してきました。昨今、生成 AI が登場して以降は、日立の幅広い事業領域をいかして、IT/OT の双方の業務に活用する検証を積み重ね、その成果や知見を Generative AI センターがお客さまに共有し、協創しながら、課題解決とともに取り組んできました。そうした実績、ユースケースやノウハウは書籍出版<sup>\*4</sup>を通じて社会にも還元しています。今回、GenAI アンバサダーとして各種エキスパートを任命し、さまざまな挑戦をより柔軟にオープンにいくことで、日立が生成 AI 活用のフロントランナーであることを知っていただく機会となることを期待しています。今後、日立に興味を持っていただいたステークホルダーのみならず、ぜひ価値につながる協創をいっそう強力で推し進めていきたいと考えています。

■日立製作所 Generative AI センター センター長 兼 Chief AI Transformation Officer 吉田 順のコメント

わたし自身も GenAI アンバサダーの任命を受け、今後、ますます情報発信に注力し、社内外のステークホルダーの方々とコミュニケーションをとる中で、生成 AI の可能性やガバナンスの在り方、人財育成など議論を活性化させていくことを楽しみにしています。これまで社内外で 1,000 件以上の生成 AI 活用のユースケースを積み重ねてきた中で実感したことは、価値ある成果を得るためには、環境整備やルールづくりだけでなく、業務プロセスやビジネスの考え方自体をアップデートし、社員一人ひとりの意識変革も行っていくことが非常に重要だということです。今回任命された GenAI アンバサダーは、社内外の生成 AI プロジェクトで活躍するフロントランナーで構成されており、業界・業務の多様な課題を起点に、解決策をアジャイルに講じながら価値を提供していく、課題ドリブン型の人財です。変化のスピードが速い生成 AI 時代には、予め必要要件を確定することは非常に困難なため、課題ドリブンで変革を実践する GenAI アンバサダーが、生成 AI 人財のロールモデルであると捉えています。その観点において、多様な GenAI アンバサダーのナレッジ共有により、GenAI Ready な人財育成にもつながると考えています。

■今後の活動について

GenAI アンバサダーは、自ら AI トランスフォーメーションの実践と社内外コミュニケーションの両輪をまわしながら、生成 AI 活用の価値や可能性を伝えていきます。具体的には、自主・協賛イベントでの登壇をはじめ、SNS やウェブサイトなど活用した情報発信を積極的に行ってまいります。イベントの第一弾として、「日立 GenAI アンバサダーウェビナー」を 2 月 28 日に開催します。以下を参照いただき、ぜひご参加ください。

なお、今後の主な発信は、[GenAI アンバサダーの Web サイト](#)をご覧ください。

【第一弾イベント：日立 GenAI アンバサダーウェビナー】

タイトル	もう迷わない、生成 AI のビジネス活用 あつ企業はいかに課題を乗り越えたのか？
日時	2025 年 2 月 28 日(金)15:00～16:30
概要	各分野で活用に期待が集まる生成 AI。しかし、導入や活用には技術的な課題、組織的な課題、法的・倫理的な課題など多くの障壁があり、山積する課題を自社だけで解決することは想像以上に困難で時間を要します。自社の課題に対してどのようなソリューションが有効なのか。実際の業務フローにどのように組み込むべきか。さまざまな悩みや迷いを乗り越えるには、実績ある先駆者の取り組みを参考にするのが近道になります。本ウェビナーでは、生成 AI の最前線で活躍する日立の「GenAI アンバサダー」4 人が登壇。日立の生成 AI 活用事例や顧客支援の事例から、ビジネスでの生成 AI 導入を成功に導くための勘所を紹介します。
登壇者	滝川 絵里 (クラウドサービスプラットフォームビジネスユニット 担当部長) 五十嵐 聡 (アプリケーションサービス事業部 部長) 照屋 絵理 (公共システム事業部 主任技師) 大山 友和 (デジタルシステム&サービス営業統括本部 Executive Strategy Unit 部長代理)
モデレーター	本宮 学 氏 (アイティメディア株式会社 DX 編集統括部 統括部長 兼 ITmedia ビジネスオンライン編集長)
応募方法	事前登録制 (先着 1,000 名様まで) 申込 URL : <a href="https://idmt2.hitachi.co.jp/DM-EV-20250228-4608-deh-event_00-LP.html?news0121">https://idmt2.hitachi.co.jp/DM-EV-20250228-4608-deh-event_00-LP.html?news0121</a>

\*1 ニュースリリース(2023年5月15日発表) 新組織「Generative AI センター」により、生成 AI の社内外での利活用を推進し、Lumada 事業での価値創出の加速と生産性向上を実現 <https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2023/05/0515.html>

\*2 高度な AI ソフトウェア GPU 技術を有する NVIDIA や、生成 AI 技術・クラウドサービスを提供する Microsoft、Google Cloud、Amazon Web Service といった世界有数のテクノロジーパートナーとの戦略的なアライアンスを締結、テクノロジーの検証やサービス開発を共同で行うなど、生成 AI のエコシステム構築に取り組んでいます。

\*3 設計情報の粒度により、効果は変動し、一律の効率化が図れるものではありません。

\*4 日立が生成 AI の書籍「実践 生成 AI の教科書」を出版 [https://digital-highlights.hitachi.co.jp/\\_ct/17686288](https://digital-highlights.hitachi.co.jp/_ct/17686288)

## 関連サイト

・GenAI アンバサダー紹介サイト：

[https://digital-highlights.hitachi.co.jp/gen\\_ai-ambassador](https://digital-highlights.hitachi.co.jp/gen_ai-ambassador)

・Lumada「生成 AI」サイト：

[https://www.hitachi.co.jp/products/it/lumada/spcon/generative\\_ai/index.html](https://www.hitachi.co.jp/products/it/lumada/spcon/generative_ai/index.html)

## お問い合わせ先

株式会社日立製作所 Generative AI センター事務局 お問い合わせフォーム：

<https://www.hitachi.co.jp/lumada/inq/>